

がん対策みなと2024 ういケアみなと ～生きていくということ～

日時 2024年 **11月3日**  祝
11:00～17:00

開催場所 港区立がん在宅緩和ケア支援センター ういケアみなと
白金台区民協働スペース
港区白金台 4-6-2 ゆかしの杜 5・6階

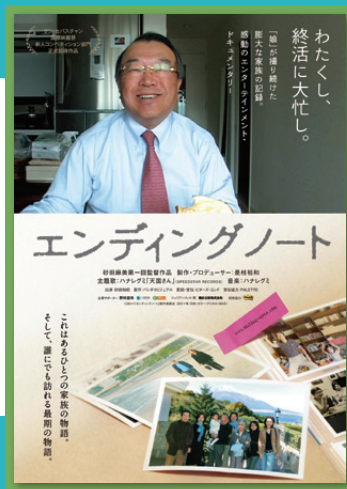


01 ういケアみなと 区民講演会
「大切にしたい自分の体
～2度の子宮がんを経験して～」
30名事前申込み **申込み対象**
どなたでも
11:00～12:00
ういケアみなと 講習室
原千晶さん タレント・
よつばの会代表

02 **がん患者こそ
運動を!**
14名事前申込み **申込み対象**
がん患者
13:00～14:00
白金台区民協働スペース
広瀬 真奈美さん
一般社団法人がんサーフィ트니스 代表

03 **ウィッグなんでも
相談会**
当日会場へ **対象**
がん患者
13:00～15:00
ういケアみなと 情報コーナー
村橋 紀有子さん
一般社団法人アピアランス・サポート東京 相談室長

04 ういケアみなと 映画上映会
「エンディングノート」
30名事前申込み **申込み対象**
どなたでも
15:00～16:30
ういケアみなと 講習室



がんの療養に役立つ様々な情報を
展示しています。
11:00～17:00 ういケアみなと 交流スペース

主催 港区立がん在宅緩和ケア支援センター
ういケアみなと
みなと保健所

協力 一般社団法人がんサーフィ트니스
一般社団法人アピアランス・サポート東京

アクセス



〒108-0071 東京都港区白金台4-6-2 ゆかしの杜5・6階

- 東京メトロ 南北線
- 都営地下鉄 三田線
「白金台」駅下車 2番出口 徒歩1分
- 都営バス (品93)
「白金台駅前」下車 徒歩1分



Instagram



ホームページ

※駐車場はございません。公共交通機関をご利用ください。

当日は感染予防のため、マスクの着用と手指消毒をお願いいたします。また、体調が優れない方は参加をご遠慮ください。

問合せ 港区立がん在宅緩和ケア支援センター ういケアみなと

申込み方法 事前申込みが必要なイベントに参加される場合は、電話またはFAXでお申込みください。
FAXの場合は、イベント名・氏名・電話番号・参加人数を記載のうえ送信してください。

電話 03-6450-3421

FAX 03-6450-3583

うえいケアみなと 区民講演会

30名
事前申込み

申込み対象
どなたでも

01 「大切にしたい自分の体 ～2度の子宮がんを経験して～」

30代で2度の子宮がんを経験し(子宮頸がん、子宮体がん)今年で50歳を迎えました。がん治療から14年が経過し、世の中のがんに対する意識は確実に変化していると感じます。それでもまだ知らない事が多かったり、他人事である方が多いのも現状です。今回のイベントを通じてがんを正しく知り、自分の健康を守ることを皆さんと一緒に考える時間になれば良いなと思っています。



原 千晶さん タレント・よつばの会代表

02 がん患者こそ 運動を!

14名
事前申込み

申込み対象
がん患者

がん患者さんが、安心して楽しく動ける運動を行います。動けるからだを作っていきましょう!
 *主治医から運動を許可されている方

広瀬 真奈美さん 一般社団法人
がん患者フィットネス 代表

03 ウィッグなんでも 相談会

当日
会場へ

対象
がん患者

ウィッグのお手入れや、購入時のポイントなどお困りのことはありませんか?アドバイザーがお答えします!

村橋 紀有子さん 一般社団法人
アビアランス・サポート東京 相談室長

04 うえいケアみなと 映画上映会 「エンディングノート」

30名
事前申込み

申込み対象
どなたでも

残された時間を前向きに生きようとする父と、家族の姿。涙と笑いに包まれて、誰もが自分の家族に思いを寄せるあたたかな作品。わたくし、終活に大忙し。高度経済成長期に熱血営業マンとして駆け抜けた「段取り命」のサラリーマン。ガンという、ふいに訪れた人生の誤算をきっかけに、彼が手掛けた最後のプロジェクトは「自らの死の段取り」だった。



父が遺した“エンディングノート”が開かれる、その時まで。人間味あふれる父とその姿を見守る家族を「娘」が描いた、感動のエンターテインメント・ドキュメンタリー

私の名前は砂田知昭、享年69歳になります。毎年欠かさず受けていた検診で癌が見えられたのは、会社を引退して二年後の2009年の事、発見時にはすでに手術が不可能な状態でした。がん告知後、私がまず最初に取り組んだのは“エンディングノート”と呼ばれるマニュアル作り、これは遺書よりははるかに法的な効力を持たない、家族への覚え書きのようなものです。自分の人生をきちんと残しておくかないと、残された家族は困ってしまうから…「段取り命」で高度経済成長を駆け抜けた元熱血営業マンの私にとって、死に至るまでの段取りは、人生最後の一大プロジェクトになったのでございます。

残された時間を前向きに生きようとする父と、家族の姿。涙と笑いに包まれて、誰もが自分の家族に思いを寄せるあたたかな作品。

病と向き合い、ユーモアと活力を最後まで失わない父と見守る家族の姿も、期は記録に残った。離婚、再婚、長年続けた仕事、親との交流、人生生活、教育の迷い、営業旅行、そして人生最後の時まで。断大な検診記録から「家族の生と死」という渾身の「エンディングノート」が生まれるまで、断大な検診記録から「家族の生と死」という渾身の「エンディングノート」が生まれるまで、断大な検診記録から「家族の生と死」という渾身の「エンディングノート」が生まれるまで。

なんで監督のパパはこんなに最後まではっきりしているのか、なんの方が彼を動かしているのか、それはやはり結実のたい家族への愛なのだろう。みんながあらめていくような奇跡がさりげなく実現していて、感動以上にまことに驚いた、この映画は希望だと思った。

よしとばなな (女優)

エンディングノート
www.ending-note.com

10/1 (土)よりロードショー!

特別監製 ¥1,300 (税込) ¥1,800 (税込) ¥1,800 (税込) 総監製 丸山 隆平

新宿ヒカデリ
03-3777-1144